

大学院

国際文化研究科

国際教育文化専攻
国際地域文化専攻

大学院 国際文化研究科

国際教育文化専攻

国際地域文化専攻

大学院 経済情報研究科

経済情報専攻

博士課程(前期)

博士課程(後期)

授業・試験・成績

授業時間

本大学院の授業は、90分（これを制度上2時間と計算する）を1時限として行っています。通常の授業は週1時限ですが、週2時限行う連続授業、短期間に行う集中講義もあります。なお、授業時間帯の区分は次のとおりです。

第1時限	9：00～10：30
第2時限	10：40～12：10
第3時限	13：10～14：40
第4時限	14：50～16：20
第5時限	16：30～18：00

試験

1. 試験は、筆記、論文、レポート又は口述等によって行われます。
試験に際しては、担当教員の指示に従わなければなりません。
2. 筆記試験においては、次の事項に注意しなければなりません。
①試験中は必ず学生証を机上の通路側におく。忘れた場合は、仮学生証の交付を受け受験する。
②無記名の答案は無効となる。
③試験開始から20分以上の遅刻及び30分以内の退室は認めない。
3. 論文、レポートを提出する際の様式・提出時期・提出場所等は、担当教員の指示に従わなければなりません。

単位認定及び成績評価等

授業科目の単位修得の認定は、合格をした者にその授業科目所定の単位が与えられます。成績評価等は次の表のとおりです。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	G P (注)
合格	秀	A：100～90点（特に優秀な成績）	4
	優	B：89～80点（優れた成績）	3
	良	C：79～70点（良好な成績）	2
	可	D：69～60点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F：59点以下（合格と認められない成績）	0
失格	失格	G：試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T：学則に則り、単位の認定がされた場合	—

※合格した授業科目を取り消して再履修することはできません。

※就職先等に提出が必要な学業成績・単位修得証明書（成績証明書）には、「不合格・失格」と判定された授業科目は記載されません。

GPA制度

本学は、欧米で一般的に行われているGPA（Grade Point Average）制度を導入しています。GPAは、学生個人の成績を客観的・総合的に評価するための指標であり、自分自身で学修した成果を判断することができます。

また、不合格科目「不可（F）」、「失格（G）」も成績に加算されるため、「不可（F）」、「失格（G）」の科目が多いとそれだけGPAも低くなります。その意味で、学生の勉学への意欲や取り組み方がはっきりと表れる制度です。

履修した科目の成績評価をグレード・ポイント（GP）に置き換え、算出します。

$$GPA = \frac{\text{履修登録した全科目の〔単位数} \times \text{GP〕の合計}}{\text{履修登録した全科目の単位数の合計}}$$

※GPAの算出例

授業科目名	単位数	評価	G P	単位数×GP
国際開発特論 I	2	秀	4	8
日本文化特論 I	2	優	3	6
比較教育制度特論 I	2	良	2	4
英語オールコミュニケーション I	1	可	1	1
国文学特論 I	2	不可	0	0
教育行政・経営特論 I	2	失格	0	0
合計	11			19

$$GPA = 19 \div 11 = 1.73$$

（GPAの算出にあたっては、小数点第2位までとし、割り切れない場合は小数点第3位を四捨五入します）

履修登録取消制度

履修登録をして授業を受講したものの、下記①～③などの理由から履修を取り消すことができる履修取消期間を設けます。

- ①授業の内容が勉強したいものと違っていた。
- ②授業のスピードについていけないだけの知識が不足していることに気づいた。
- ③健康上、履修科目数を減らしたい。

この履修取消期間内に大学院事務室に申し出がなく、自ら履修を放棄した場合、評価は「失格」（GP = 0）となり、GPAの算出対象となるので注意してください。

なお、履修取消期間外においても、研究科等での審議により認められた場合は履修を取り消すことができます。

履修登録期間については別途連絡します。

成績発表

成績はUNIVERSAL PASSPORTで確認できます。原則、下記の時期に発表します。

前期：8月中旬～下旬

後期：2月中旬～下旬

成績の問い合わせ

成績発表後、不明な点のある人は、成績質問書による問い合わせに応じます。

指定された期間内に所定の用紙を大学院事務室へ提出してください。調査確認の後、大学院事務室から回答します。

大学院

経済情報研究科

経済情報専攻

博士課程（前期）

博士課程（後期）

大学院 国際文化研究科

国際教育文化専攻

国際地域文化専攻

大学院 経済情報研究科

経済情報専攻

博士課程（前期）

博士課程（後期）

授業・試験・成績

授業時間

本大学院の授業は、90分（これを制度上2時間と計算する）を1時限として行っています。通常の授業は週1時限ですが、週2時限行う連続授業、短期間に行う集中講義もあります。なお、授業時間帯の区分は次のとおりです。

第1時限	9：00～10：30
第2時限	10：40～12：10
第3時限	13：10～14：40
第4時限	14：50～16：20
第5時限	16：30～18：00

試験

1. 試験は、筆記、論文、レポート又は口述等によって行われます。
試験に際しては、担当教員の指示に従わなければなりません。
2. 筆記試験においては、次の事項に注意しなければなりません。
①試験中は必ず学生証を机上の通路側におく。忘れた場合は、仮学生証の交付を受け受験する。
②無記名の答案は無効となる。
③試験開始から20分以上の遅刻及び30分以内の退室は認めない。
3. 論文、レポートを提出する際の様式・提出時期・提出場所等は、担当教員の指示に従わなければなりません。

単位認定及び成績評価等

授業科目の単位修得の認定は、合格をした者にその授業科目所定の単位が与えられます。成績評価等は次の表のとおりです。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP(注)
合格	秀	A：100～90点（特に優秀な成績）	4
	優	B：89～80点（優れた成績）	3
	良	C：79～70点（良好な成績）	2
	可	D：69～60点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F：59点以下（合格と認められない成績）	0
失格	失格	G：試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T：学則に則り、単位の認定がされた場合	—

※合格した授業科目を取り消して再履修することはできません。

※就職先等に提出が必要な学業成績・単位修得証明書（成績証明書）には、「不合格・失格」と判定された授業科目は記載されません。

GPA制度

本学は、欧米で一般的に行われているGPA（Grade Point Average）制度を導入しています。GPAは、学生個人の成績を客観的・総合的に評価するための指標であり、自分自身で学修した成果を判断することができます。

また、不合格科目「不可（F）」、「失格（G）」も成績に加算されるため、「不可（F）」、「失格（G）」の科目が多いとそれだけGPAも低くなります。その意味で、学生の勉学への意欲や取り組み方がはっきりと表れる制度です。

履修した科目の成績評価をグレード・ポイント（GP）に置き換え、算出します。

$$GPA = \frac{\text{履修登録した全科目の〔単位数} \times \text{GP〕の合計}}{\text{履修登録した全科目の単位数の合計}}$$

GPAの算出例です。

授業科目名	単位数	評価	G P	単位数×GP
情報数理基礎論A	2	秀	4	8
数値計算論A	2	優	3	6
数値計算論演習Ⅲ	4	良	2	8
ビジュアルコンピューティング論Ⅰ	2	可	1	2
高性能コンピューティング論A	2	不可	0	0
経済情報のための英語特論A	2	失格	0	0
合計	14			24

$$GPA = 24 \div 14 = 1.71$$

（GPAの算出にあたっては、小数点第2位までとし、割り切れない場合は小数点第3位を四捨五入します。）

履修登録取消制度

履修登録をして授業を受講したものの、下記①～③などの理由から履修を取り消すことができる履修取消期間を設けます。

- ①授業の内容が勉強したいものと違っていた。
- ②授業のスピードについていけないだけの知識が不足していることに気づいた。
- ③健康上、履修科目数を減らしたい。

この履修取消期間内に大学院事務室に申し出がなく自ら履修を放棄した場合、評価は「失格」（GP＝0）となり、GPAの算出対象となるので注意してください。

なお、履修取消期間外においても、研究科等での審議により認められた場合は履修を取り消すことができます。

履修登録期間については別途連絡します。

成績発表

成績はUNIVERSAL PASSPORTで確認できます。原則、下記の時期に発表します。

前期：8月中旬～下旬

後期：2月中旬～下旬

成績の問い合わせ

成績発表後、不明な点のある人は、成績質問書による問い合わせに応じます。

指定された期間内に所定の用紙を大学院事務局へ提出してください。調査確認の後、大学院事務局から回答します。